



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 5 月号

博物館こどもフェスタ 2007

大型連休最終日、こどもたち向けの行事をいろいろとりそろえて行ないます。遊びながら博物館の世界を体験してみましょ!!

5月6日(日)
開催!



催し物	内容	開催時間・場所等	
古代生活体験「火起こし」	古代舞い切り式の火起こしを体験します。	10:00 ～ 12:00	屋外
古代生活体験「布おり」	縄文人の布のおり方を体験し、コースターをつくります。	10:00 ～ 12:00	科学教室
二宮金次郎体験	金次郎みたいに、着物を着て、薪を背負って歩きます。	10:00 ～ 12:00	13:00 ～ 15:00 屋外（講堂に集合）
むかしのこども遊び	大山ごま、缶ぼっくり、竹馬、お手玉、おはじき、あやとり、紙飛行機などで、たっぷり遊べます。	10:00 ～ 16:00	1階展示室・屋外
クイズで平塚はっけん	クイズ10問に答えて、平塚をもっと知るてがかりをつかもう!	10:00 ～ 16:00	常設展示室
石材めぐり	文化公園に使われているいろんな石材を観察して歩きます。雨天時は館内で石の話をします。	13:00 ～ 15:00	文化公園周辺 (13時に博物館玄関集合)
屋間の星を見よう	屋間の天体観察をします。曇天時は3階・星の広場にて「霧箱で宇宙線を見よう」に変更します。	13:00 ～ 15:00	屋上
古代生活体験「弓矢」	弓矢的を射て、古代人の狩猟を体験します。雨天時は中止です。	13:00 ～ 15:00	屋外
クラフトづくり	貝がら、流木など様々な漂着物を使って、個性あふれる作品を創りましょう。	13:00 ～ 16:00	科学教室
はくぶつかん太鼓連の演奏	できたてのホヤホヤの太鼓連がフェスタを盛り上げます。みんなでタイコを叩きましょう。	13:00 ～ 17:00	屋外
博物館ぶたい裏ツアー	博物館の裏方をご案内します。資料がぎっしり詰まった収蔵室は見たえ充分! はず。	15:10 ～ 16:00	館内 (15:10受付前集合)
ろばたばなし	「買い幽霊」「おぎん、こぎん」「喰わず女房」などのちょっと怖い話を語ります。	16:00 ～ 16:30	1階展示室
星を見る会「金星土星を見よう」	閉館後は屋上で天体観察はいかがですか。ただし曇天時は中止です。	19:00 ～ 20:30	科学教室・屋上



展示室で知ろう

平塚周辺の活断層



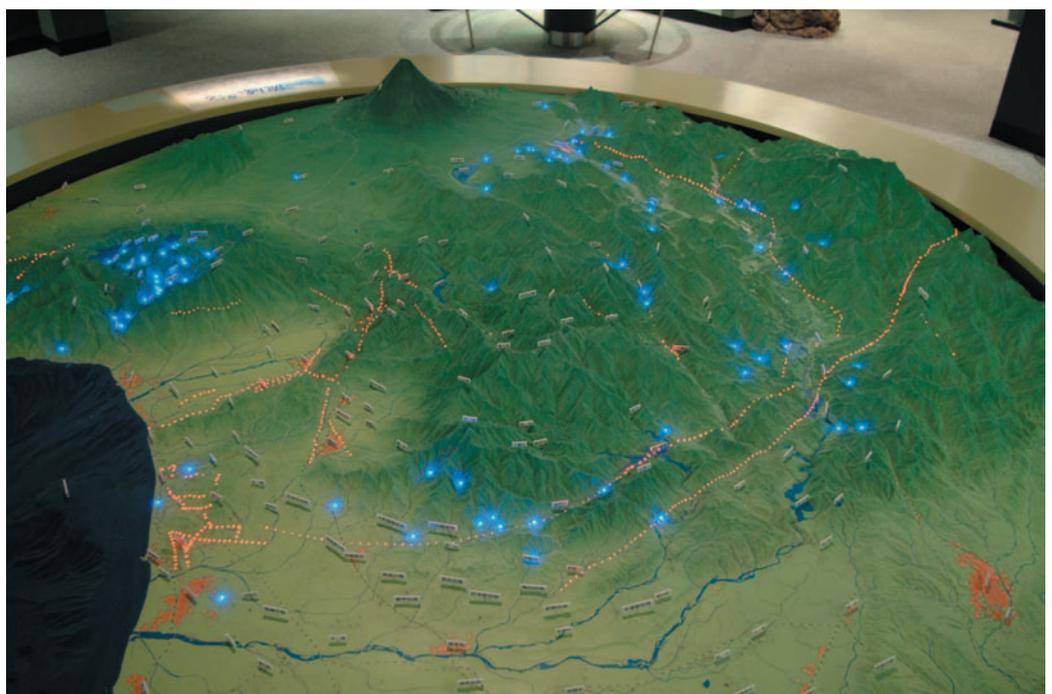
展示室2階のはぎとり標本

平塚周辺の活断層について展示室の2箇所に展示されているのをご存じでしょうか？

一つは二階の「地震と平塚の地盤」のコーナーにあります。このコーナーには湘南平の北に走る活断層（小向断層）の断層剥ぎ取り標本を展示してあります。この小向断層はA級（1000年に1mの割合で動く）活断層と認定されています。湘南平が平らなのは、かつて海面下で波により作られた波食台が巨大地震の度に隆起し、現在の高度まで持ち上げられたからです。照ヶ崎などに見られる岩礁は海面下の波食台が大正関東地震により隆起したものなのです。平塚では同じ時期に形成された波食台が高根で40mに、湘南平で160mにあり、120mも食い違っています。形成年代が12～13万年前であることから、ほぼ1000年に1m隆起する計算になります。展示してある剥ぎ取り標本では、岩盤とローム層が接していて、軟らかいローム層中には分岐した数多くの小断層が発達しています。白っぽい軽石層がズタズタに寸断されているのがよくわかります。

もう一つは、一階「相模川流域を探る」の地形模型の中にあります。この地形模型には、相模川流域に関するいろいろな情報が盛り込まれています。その一つに「流域の活断層」があります。相模川流域の活断層の分布、大磯丘陵の活断層の分布や解説をボタン操作で調べてみてください。活断層が地形にどのように現れているかを注意してみると、一直線に伸びる谷には活断層が走っていること、海底にも活断層が続いていることなどに気がつくでしょう。活断層の走っているところに湧水や温泉が分布していることに気がつければ、断層は危険というマイナスイメージだけでなく、恵みもあることがわかるでしょう。

平塚周辺の活断層については、夏期特別展「平塚周辺の地盤と活断層」（7月14日～9月9日）で詳しく展示・解説したいと思います。会期中、記念講演会・断層観察会・連続講座・展示解説なども企画しています。ご期待下さい。



展示室1階の地形模型

博物館カレンダー

2007年5月と6月の行事

2	水	☆	寄贈品コーナー「新着資料(人文)」 ～5/30	博物館
5	土	☆	プラネタリウム「5月の星空ナビ」	プラネ
6	日	◎	博物館子どもフェスタ2007	館内外
			平塚の古代を学ぶ会	科学室
			古代生活実験室	科学室
		◎	星を見る会 天体観察会	屋上・科学室 屋上・科学室
10	木		石仏を調べる会	山下
11	金		古文書講読会	講堂
12	土		地質調査会	屋外
		◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
13	日		水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
16	水		裏打ちの会	科学室
			民俗探訪会	講堂
17	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
18	金		古文書講読会	講堂
19	土	○	自然観察ウォーキング	野外
			博物館太鼓連	講堂
			星まつりを調べる会	野外
20	日		相模川の生い立ちを探る会	曾我
		◎	ろばたばなし	民家
24	木		石仏を調べる会	高根
25	金		古文書講読会	講堂
26	土		地質調査会	科学室
			地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○	遺跡を歩く会	屋外
27	日	◎	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
			天体観察会勉強会	科学室

<展示とプラネタリウム>

☆春期特別展

「幕末の村おこし-二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法」
日時:5月6日(日)まで

☆寄贈品コーナー「新資料紹介・人文部門」

人文部門の新着資料を展示します。明治時代の自転車など。
日時:5月2日(水)～5月30日(水)

☆プラネタリウム「5月の星空ナビ」

5月のおもな天文現象を解説します。
投影日:5月5日(土)14時
観覧料:100円(中学生以下無料)

☆プラネタリウム「ほうき星に乗って」

彗星の姿と動きを追いかけます
毎週土・日曜日11時と午後2時(5月5日14時をのぞく)

<参加者募集>

◎博物館子どもフェスタ2007

子ども向けの行事を盛りだくさんに実施します。
日時:5月6日(日) 詳細は表紙ページごらんください

◎星を見る会「金星土星を見よう」

望遠鏡で土星と金星を観察します。曇天時中止。参加自由
日時:5月6日(日) 午後7時～8時30分
場所:博物館科学教室・屋上

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
日時:5月12日(土) 午前9時30分～11時
場所:平塚虹ヶ浜海岸
参加自由(初めての方は往復はがきで申し込んで下さい)

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。参加自由
日時:5月20日(日)(1)午後1時20分～(2)午後3時～
場所:展示室民家

1	金		古文書講読会	講堂
		☆	寄贈品コーナー「公募写真PR展」 (～7/1)	寄贈品コーナー
2	土	☆	プラネタリウム「6月の星空ナビ」	プラネ
		☆	プラネタリウム「フリートーク」～ 6/30	プラネ
		☆	プラネタリウム「すいせいゴエモン のぼうけん」～7/15	プラネ
3	日		地質調査会	屋外
			平塚の古代を学ぶ会	講堂
			古代生活実験室	科学室
7	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
8	金		古文書講読会	講堂
9	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		○	遺跡を歩く会	屋外
			天体観察会	屋上・科学室
10	日		水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
14	木		石仏を調べる会	万田
15	金		古文書講読会	講堂
16	土	○	自然観察ゼミナール「植物観察入門」	講堂
			博物館太鼓連	講堂
17	日		地質調査会	科学室
		◎	ろばたばなし	民家
20	水		裏打ちの会	科学室
21	木	○	民俗探訪会	野外
			展示解説ボランティアの会	特研究室
22	金		古文書講読会	講堂
23	土		地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
			星まつりを調べる会	特研究室
24	日	◎	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
			天体観察会勉強会	科学室
28	木		石仏を調べる会	万田
30	土	○	自然観察ゼミナール「植物観察入門」	講堂
			星まつりを調べる会	野外

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会「新しい太陽系像」

プラネタリウムの機能を駆使して宇宙の諸現象をくわしく解説します
日時:5月27日(日) 午後3時30分～4時30分
場所:プラネタリウム室
参加自由

○自然観察ウォーキング

初夏の風を感じながら自然観察を楽しみます。
日時:5月19日(土) 午前9時30分～午後3時(雨天時中止)
場所:土屋地区
参加:往復ハガキにて5月11日必着。定員30人。

○遺跡を歩く会

平塚市内の代表的な遺跡巡りを年4回実施します。
・日時:5月26日(土) 午前10時～午後3時
場所:土沢地区(原口遺跡、八塚古墳他)
参加:往復ハガキにて5月15日必着。定員30人。
・日時:6月9日(土) 午前10時～午後3時
場所:真田北金目(王子ノ台遺跡、塚越古墳他)
参加:往復ハガキにて5月29日必着。定員30人。

各行事の申込方法について

往復はがきには
行事名、お名前、年齢、郵便番号、住所、電話番号等
をご記入の上、お申込み下さい。

☆:展示、プラネタリウム ○:申込制 ◎:自由参加 無印:年間会員制

新着資料展

（人文部門）

民俗部門展示資料から

博物館にミシヨー型自転車がやってきた

ミシヨー型自転車とは、1863年にフランス人のピエールミシヨーが考案した世界最初の量産自転車です。それまでの自転車“ドライジーネ”はペダルが無く、地面を蹴って走行する自転車でした。ミシヨー型は前輪に初めてクランクとペダルが付けられ、月間400台もが生産されたといわれます。のちイギリスに渡ると、その乗り心地の悪さから“ボーンシェーカー”（骨ゆすぶり）とも呼ばれましたが、アメリカでも量産され1880年代まで世界に広まりました。1880年頃には前輪が極端に大きな“オーディナリー”がイギリスで生産され主役の座を譲りました。

慶応年間（1865～1868）に日本へ初めて自転車が渡来したときの自転車がこのミシヨー型であったといわれています。博物館の自転車は、明治2年-1869-（一説には明治4年）に当時の逓信省がアメリカから購入したといわれています。旧所蔵者は、市内明石町で自転車店を営み、若い頃は自



2006. 12. 22 ミシヨー型自転車が博物館へ到着

転車競技の選手としても名を馳せた故・平田忠心氏（1898～1988）で、氏の膨大な自転車コレクションのひとつでした。平田氏は、本市の競輪場開設をはじめ、自転車と交通文化の発展にたいへん尽力された方です。また、大雄山最乗寺道了尊の篤信者であり、大正13年に平塚の商店主で組織した平塚復興講の講元を生涯にわたり務められ、道了信仰の普及に寄与されました。

ミシヨー型自転車は昭和30年代に東京都千代田区の旧交通博物館へ貸し出され、長らく常設展示されていました。昨年、同館の閉館にともない、平田氏のご家族から当館へ寄贈されました。ミシヨー型自転車の保有台数は国内で多くても10数台程度と推定されているたいへん稀少なものです。今後も常設展示をする予定ですので、ぜひ一度ご覧ください。

平田貸切自動車の店先（大正7年撮影）

平田氏は大正4年の自転車販売業に続き、大正7年に貸切自動車を開業。前列右から二人目が平田氏。



考古部門資料から

「大昔の暮らし」原画

昨夏実施した特別展「五領ヶ台貝塚ものがたり」解説パネルの原画です。こどもを対象とした同展開催にあたり、市内在住の伊藤昭治氏に、こどもの目線で「五領ヶ台人の暮らし」を描いていただきました。

それぞれの原画に、親子関係の暖かい温もりが感じられます。じっくりごらんになって下さい。



歴史部門資料から

焼夷弾が突き抜けた天井

黒部丘にお住まいの平田佐千子さんから、焼夷弾が突き抜けた天井板を寄贈していただきました。

この天井板は昭和20年7月16日の平塚大空襲のさいに平田家に落ちてきた焼夷弾が突き抜けたもので、平田さんは当時の様子を「我が家に焼夷弾が一発命中。屋根に突き刺さり、詮が天井板を突き破り、突き刺さった焼夷弾は火を噴き出し襖に、そして畳へと燃え移っていた」と記しています（『火薬廠のある街で』）。このときはお父さんが襖の火を叩き消し、畳を庭へ蹴りだしたことで家の焼失を免れたといえます。



カレンダー・行事案内は3ページにあります

あなたと博物館 34巻2号 通算365号 発行 平塚市博物館 2400

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>